

お食事 団体のお客様の昼食には、羅臼の海産物などを使ったお料理やお弁当をご予算に応じてご用意いたします。
※写真はイメージです。ご予算に応じて内容は変わります。



宿泊
団体のお客様の受け入れが可能な宿泊施設はこちらです。その他、小規模の民宿へのご宿泊や分宿についてもご相談ください。



羅臼の宿まるみ 宿泊可能人数170人
ホテル峰の湯 宿泊可能人数80名

道の駅知床・らうす
国道335号線の海岸沿いにある道の駅。1階には観光案内所とトイレ、2階と屋上には国後島が見える展望室と展望台があります。隣接する「海鮮工房」と「らうす深層館」ではお土産の購入、「知床食堂」では海産物中心のお食事が楽しめます。

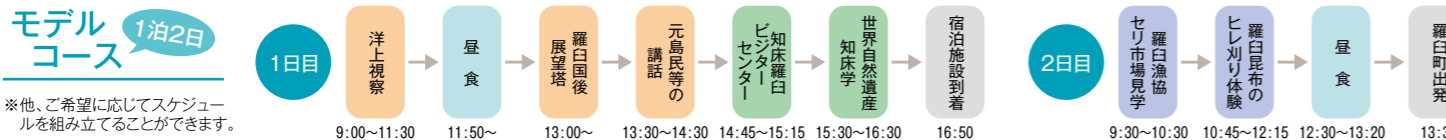


知床らうす国民健康保険診療所

診療時間
月～金 8:30～14:00
※24時間緊急外来対応可

診療科目
内科・外科・小児科
(その他専門外来は指定日診療)

TEL
0153-87-2116



世界自然遺産・野生動物

流水から始まる「海」の生態系、広大な山で育まれる「陸」の生態系、それらを繋ぐ役割を果たす「川」。知床は野生動物や植物などの自然が営む命のサイクルが繋がる事で特異な環境が保たれています。知床が2005年に世界自然遺産に登録されるにあたり評価されたのは「海、陸、川の生態系が独特な相互関係にあること」、「シマフクロウなどの絶滅危惧種が多く生息する生物の多様性」の2点です。観光船での海鳥・鯨類・ヒグマなどの野生動物観察、羅臼湖・熊越の滝トレッキングや海のごみ拾いなどの体験プログラムを通じて、自然と共生しているということを感じ、「海の豊かさを守る」「陸の豊かさを守る」大切さを考える機会となります。

北方領土問題

日本は、第二次世界大戦以降ロシアが領有している北方領土の返還を求めています。全長123kmの広大な国後島から知床半島羅臼町までの距離はわずか25km。近くて遠い国後島を見て、その存在を感じ、また日本と世界の歴史を知る事で、国際関係についてより身近な問題として考えることが出来ます。元島民が語る「北方領土」では元島民の皆様がそれぞれの時代をどのような思いで生きて来られたのかなどの貴重なお話を聞き、北方領土問題を正しく理解していただく機会となります。



漁業・食産業

漁業と共に生きてきた羅臼町。根室海峡の水深は最深部が2,400メートル以上と非常に深く、流水が毎年運んでくる海の栄養の恩恵も受けることから、羅臼町では多種多様なおいしい海産物が水揚げされます。その一方で大変厳しい自然環境の中で特殊な漁法や加工技術を開発してきました。そんな漁師さんや浜のお母さんたちの技を見学・体験し、漁業と食産業の歴史や関わりを学ぶことができます。漁業と共に生きてきた羅臼町は次世代の未来を守る為に持続可能な漁業・食産業のあり方を考え実践しています。



歴史・文化

1万年も昔から続いている根室海峡での人々の暮らし、その生活の大きな支えとなっているのは大地と海を往来し、あらゆる生命の糧となった鮭です。令和2年6月に「鮭の聖地」の物語～根室海峡一万年の道程～(標津町・根室町・別海町・羅臼町)が日本遺産に認定されました。知床では古代より国境を越えた交流が行われており、古代北方文化のオホーツク文化を担った人々も往来を重ねてきました。国指定重要文化財「北海道松法川北岸遺跡出土品」の中の一つにクマとシャチが彫刻された容器があります。それはアイヌの人々の精神文化に強い影響を与えたことがわかるとともに、世界自然遺産知床の海と山との繋がりを象徴するものです。そんな知床の歴史を見学・体験プログラムから学んでいただけます。



知床世界自然遺産 SHIRETOKO WORLD NATURAL HERITAGE

らうす

羅臼で学びたい

知床羅臼町体験学習プログラムのご案内

お問い合わせ (一社)知床羅臼町観光協会 知床羅臼町体験学習推進協議会・受付担当
TEL.0153-87-3360 (平日 9:00～17:00) FAX.0153-87-4910
〒086-1833 北海道目梨郡羅臼町本町361-1

